

# “自閉式”壁掛

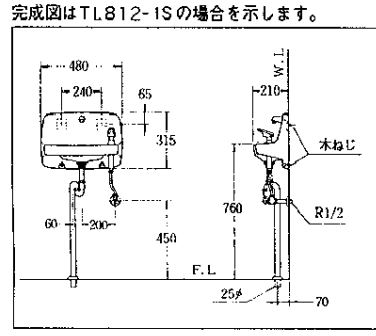
製品の機能が十分発揮されるように、

## 安全のために必ずお守りください

- お取付けの際に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しくお取付けください。
- この説明書では機器を安全に正しく取付けていただくために、必ずお守りいただくことを、△注意の表示によってお知らせしています。

**△注意** この表示の欄の内容を無視して誤った取扱いをすると、傷や故障の原因が完成する可能性があります。

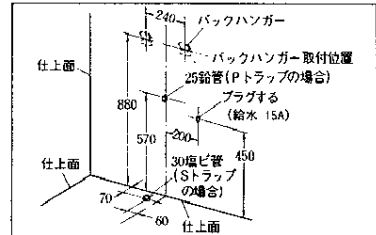
## 完成図



## 使用条件

1. 使用水圧  
 給水圧力 最低必要圧力…0.04MPa  
 最高圧力…0.75MPa

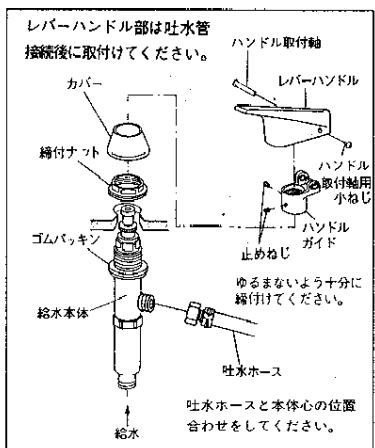
## 下準備



## 器具の取付け

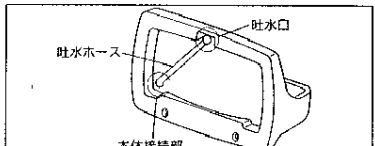
- 次の手順で行ってください。
1. 給水管内の清掃  
 器具を取付ける前に必ず給水管内のこみ、砂などを完全に洗い流してください。

## 2. 給水金具の取付け (1) 本体の取付け

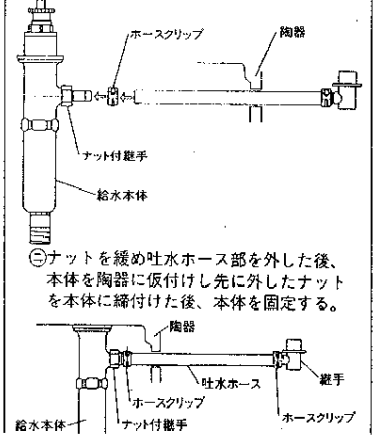


## (2) 吐水ホース及び吐水口の取付け

**△注意**  
 ホースクリップが無いと、ホースが抜けることが有りますので注意願います。



- ① 吐水ホースの、凍結、防露対策は必要に応じて現場にて行ってください。
2. 吐水ホースは破損、変形のしないよう取扱いに注意してください。
- ① 本体接続部の取付け手順  
 ① 吐水口側接続継手とホースのセットされた物を箱から取出す。  
 吐水ホース、ホースクリップ、継手  
 ② 陶器下部穴(本体接続部)にホースを通す。  
 ③ 箱から本体を取出し吐水ホースを継手に差込んだ後、ホースクリップで吐水ホースを固定する。



## ② 吐水口部の仮固定

- ① 吐水口部の止めねじをはずして吐水口接手を分解してください。
- 
- ② 吐水ホースを手洗器に当てがい吐水口接手を仮固定してください。
- 
- ③ 吐水口接手を本固定してください。
- ④ 吐水口の方向性に注意して、吐水口を吐水口接手に差し込み、止めねじでしっかり固定してください。
- 
- ⑤ レバーハンドル部を取付けてください。

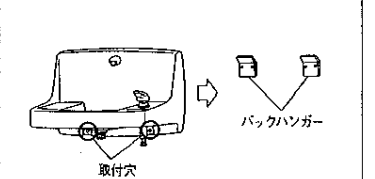
## 3. 排水金具の取付け

手洗器に排水金具の本体部に取付けてください

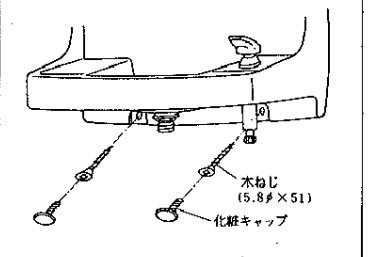
## 4. 手洗器の取付け

施工後の補修を容易にするために、手洗器をモルタルで埋戻したり接着剤での固定はしないでください。

- ① バックハンガーを所定の位置に取付けたあと手洗器を仮付けして、取付穴の位置をけがき、下穴(2箇所)をあけてください。

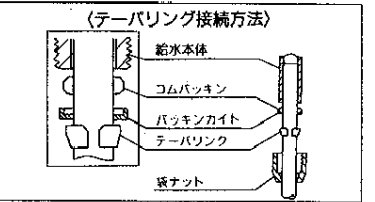


- ② 再度、手洗器を取付けて木ねじで固定してください。



## 5. 排水金具の本体部以降及び止水栓を取付けてください。

給水管はテーパリング・パッキンガイド・パッキンの順番、向きをまちがえないようにして接続してください。



# 手洗器施工説明書

この施工説明書の内容にそって正しく取付けてください。

## 水勢・吐水時間の調節

### 1. 水勢の調節

使用時に水飛びしない程度に止水栓で水勢を調節してください。

### 2. 吐水時間の調節

吐水時間調節ねじを内蔵していますので、次の要領で適当な吐水時間に調節してください。

なお、吐水時間の最大は50秒程度です。

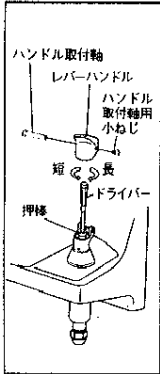
(1)水勢を調節して吐水時間を確かめる。

(2)ハンドル取付軸をドライバーで固定しハンドル取付軸用小ねじをドライバーなどでゆるめレバーハンドルを取外す。

(3)吐水時間調節ねじをドライバーなどで回転させ、適当に調節する。  
右回転…長くなる  
左回転…短くなる

(4)押棒を押して吐水時間を確かめる。

(5)調節が終わったらレバーハンドルを取付けハンドル取付軸をドライバーで固定しハンドル取付軸用小ねじをゆるまないよう十分に締付けてください。



## 取付後の掃除

泡沫キャップ、ストレーナがつまると、水の流れが乱れたり、吐水量が少なくなるなど機能が十分発揮されませんので器具取付後は必ず掃除してください。

なお、お客様にもときどき掃除していただくようにご指導ください。

### ●ストレーナの掃除

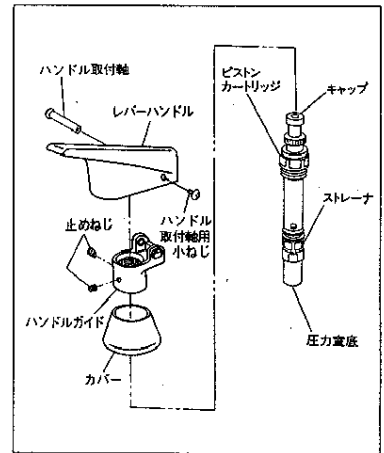
(1)止水栓を閉じる。

(2)ハンドル取付軸をドライバーで固定しハンドル取付軸用小ねじをドライバーでゆるめてレバーハンドルを取外す。

(3)止めねじをドライバーでゆるめてハンドルガイドを取外しカバーを外す。

(4)ピストンカートリッジをスパナでゆるめて取出す。

(5)ストレーナの網目につまったごみをブラシなどで掃除し十分水洗いする。



## お手入れ

めっきされた器具がいつまでも美しさを保つように、お客様にお手入れ方法をご指導ください。

- 常に柔らかな布でみがき、ときにはシンナーやカーワックスなどをしませた布でふいてください。
- クレンザーやみがき粉など粗い粒子を含んだ洗剤やナイロンたわしなどはめっき面を傷つきますので使用しないでください。
- 酸性洗剤はめっきを侵しますので、使用しないこと。もし、タイルを酸性洗剤で洗った場合はすぐにタイル及び器具を十分に水洗いしてください。

## 注意

ピストンカートリッジのキャップを操作した場合圧力室底からピンが飛び出ます。圧力室底に指などが触れた状態でキャップを操作しないようにしてください。  
けがをするおそれがあります。

注：組立の際はピストンカートリッジがゆるまないよう十分に締付けてください。

## 分解と点検

取付後万一故障などで分解するときは、次の要領で行ってください。

故障と点検箇所	点検箇所
水勢が強すぎる	1
水勢が弱すぎる	1, 2, 3
水が止まらない	4, 5
吐水時間が長い	4, 6
吐水時間が短い	6
ハンドルががたつく	7, 8

